

内閣府局長が記念講演

シンクロナイズ ネット5周年 「女性参画拡大を」



仕事と生活の調和の大切さを講演する板東局長

男女共同参画社会の実現を目指す県内の団体や個人でつくる、シンクロナイズ ネット（川久保賢隆代表）の結成五周年記念大会が十五日、山口市湯田温泉の県婦人教育文化会館であり、記念講演やパネルディスカッションがあった。

県内から会員ら約八十人が参加した。記念講演は内閣府男女共同参画局の板東久美子局長を招き、「男女共同参画社会の実現に向けてワーク・ライフ・バランスの推進を中心に」と題して大筋的な話を聞いた。板東局長はUNDP（国

連開発計画）の二〇〇六年の報告書で、長寿や教育、所得の充足度を示す日本のHDI指数は世界七位なのに、女性の政治や経済活動への参画を示すGEM指数は四十二位といった各種データを示し「日本の女性の能力は高いけれど、社会でそれを発揮できる機会が少ない」と指摘。国は第二次男女共同参画基本計画で、二〇年までに指導的地位を占める女性の割合を30%に

する目標を掲げたことを紹介した。

ワーク・ライフ・バランスは男女共同参画の一環で、「誰もが仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発などさまざまな活動を自分の希望するバランスで実現できる状態」と説明。共働き世帯の増加などで必要性が問われるようになったもので、板東局長は「ワーク・ライフ・バランスの実現は個人の人生の充実だけでなく、企業、組織、社会全体の活力にとって必要不可欠なもので明日への投資。また男女共同参画社会につながるものと考えてほしい」と呼び掛けた。

中国文化を学び